

「第10回紙飛行機滞空競技大会」

堺南ロータリークラブ

社会奉仕活動委員会 委員長 中瀬 寿隆

当クラブの社会奉仕活動の中心行事として、堺市の後援を受け、堺市内の児童養護施設の小学生を対象に行われている継続事業で、今年度で10回目の開催となります。

競技方法は、タイトルどおり、生徒自身が製作した紙飛行機をゴムカタパルトで飛ばし、3回の試技の合計滞空時間で競うというシンプルなものです。

①製作過程も児童自身が行い、創意工夫や集中力を養うことができること、②競技に向けて生徒間同士、また施設教員とのコミュニケーションも図られること、③紙飛行機が思惑通り、大空を滑空したとき、生徒は大きな満足感・達成感、高揚感を得ることができ、今後の人生にとって得難い成功体験となること、等の理由により各施設指導者からも、毎年の継続実施の要望も強く、ついに今年10回目の節目の開催にたどり着いた次第であります。

当紙飛行機滞空競技大会は、地域密着で活動されていた地元堺の「大泉紙飛行機クラブ」有志の活動を大泉緑地内で当クラブメンバーが偶然にも拝見し、「地域密着で活動されている紙飛行機クラブの皆様の技術や知恵を社会奉仕活動に生かしていただくことはできないものか。」と思案し、当クラブ会員全員が知恵を絞り、2009年に第一回大会の発足に結びつけました事業であります。



第10回大会は、梅雨の晴れ間の大変蒸し暑い天候の中、児童42名、施設指導者12名、大泉紙飛行機クラブの指導者19名、堺南ロータリークラブメンバーと家族17名、2640地区上松瀬ガバナー補佐はじめ協賛ロータリークラブご協力者12名の計102名の参加を頂戴し、盛大におこなわれました。

学年別の競技優勝者や教職員部門の成績優秀者に、メダルと賞品が授与された後、堺市並びに当クラブより、大泉紙飛行機クラブ様の長年の指導功績に対し、感謝状と金一封を贈呈させていただきました。

最後となりましたが、大会実施にあたりまして、堺東南、堺東、堺北、堺清陵、羽衣各RCのご協賛を頂戴し、有志ロータリアンが当日会場の設営準備、競技運営、後片付けに至るまで、一方ならぬご協力を賜りましたことに対し重ねて御礼申し上げます。

